

平和な世界にするために  
何が必要？



命の大切さを知る  
森田郁枝(77)



他者に与えつつ、  
自分の持つもの  
をやっていること  
に満足すべき  
Ryan Fischer(52)



世界の為政者が  
資料館を見学し、  
被爆者の叫びを  
聞く  
伊藤正雄(83)



人は1人では生き  
られないため、周  
りに感謝する  
佐々岡真司(57)



何があったのか  
を知り、周りの人  
と話を  
河野千鶴(50)



争い事は道具を  
使ったらいけな  
い。トップの判断  
が全て  
野田博(93)



日々の小さな幸  
せを大切に  
杉原 宣(34)



相互で問題を理  
解し、相手に敬意  
を払う  
中山恵利菜(19)



ゆとりのある心  
を持てば、許容で  
きることが増え  
ると思う  
西山江利佳(34)



世界に関心を持  
ち、語り合い、考  
えて一歩を踏み  
出す  
木原悠那(16)



花があふれる世  
界になれば人の  
心も豊かになる  
加藤文隆(47)



対決より解決を  
山下大稀(28)



冷静に考えるこ  
とのできる人に  
仲裁してもらっ  
て話し合う  
田部敬士(13)



目の前にいる人  
を大事にし、見え  
ない場所にいる  
人を想像する  
鈴木由香(40)



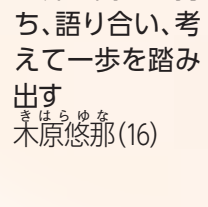
他人事のように  
考えず、選挙に  
行ったり、政治に  
参加したりする  
柳楽恵里(41)



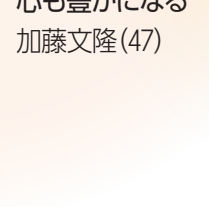
多様性を認めて、  
いろいろなこと  
を取り入れる  
坂本美津子(68)



一人一人が平和  
に対して関心を  
持ち続ける  
水岡祐一(34)



世界に関心を持  
ち、語り合い、考  
えて一歩を踏み  
出す  
木原悠那(16)



花があふれる世  
界になれば人の  
心も豊かになる  
加藤文隆(47)



想像力を働かせ  
て現実と向き合  
い、対話や歩み  
を止めない  
藤谷由江(48)



自分自身を大事  
にすることで、人  
に優しくなれる  
田中優奈(38)



文化の違いを理  
解し、尊重する  
加藤順風(21)



争いごとにつな  
がる貧富の差が  
なくなればいい  
有田良直(89)



核兵器をゼロに  
する  
山中隆(67)

平和への思いを未来につなぐためにどうする？



平和学習で学ん  
だことを幼い妹  
に分かりやすく  
伝える  
串間唯人(18)



「原爆の絵」を通  
して被爆者から  
聞いた話を全国  
に伝えたい  
原詩音(17)



無惨な事実を知  
り、「平和」とは何  
かを考え、周囲の  
人と意見を交わす  
和田行司(71)



戦争体験を人に  
伝えたことがな  
いが、誰かに聞か  
れたら話したい  
広谷チズ子(88)



家族伝承者とし  
ての講話活動を、  
地道に続けてい  
きたい  
窪田紀子(50)



戦争を詳しく知り  
「本当の平和とは  
何か」を考え、後  
世に伝えていく  
芝田恵(12)



県外から来た人  
に親から聞いた戦  
争体験を伝える  
望月博規(75)



生徒会を活用し、  
学校全体に平和  
学習を広めたい  
田中汎夏(18)



被爆体験伝承講  
話をしている同  
級生に会い、話を  
聞く  
河野李奈(35)



ノーベル平和賞  
受賞を知らずに  
亡くなった先人の  
思いを伝えていく  
大中伸一(74)



こどもが平和学  
習で分からない  
ことがあれば一  
緒に考える  
佐々木麻衣(36)



聴講者が吸い込  
むように聞いて  
くれる被爆体験  
講話を続けたい  
葉本勝子(85)



祖父から戦時中  
の話を聞き、これ  
から生まれるこ  
どもに伝えたい  
河野凌(25)



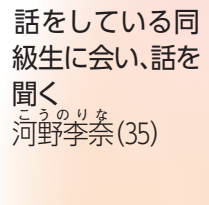
被爆者の話を聞  
き、多言語でSNS  
で発信する  
Putera Ramadhan  
Saeful Hidayat  
Tabiyini(26)



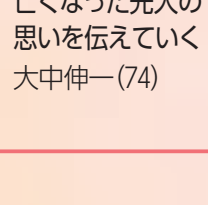
101歳の母から聞  
いた話を伝えたい  
松永悦子(74)



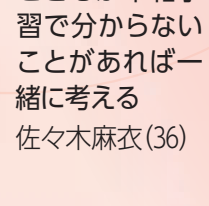
多くの人と話し  
て交流を持つ  
松尾朗(80)



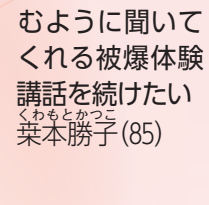
被爆体験伝承講  
話をしている同  
級生に会い、話を  
聞く  
河野李奈(35)



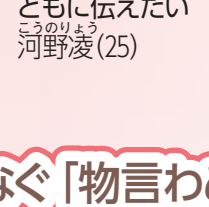
ノーベル平和賞  
受賞を知らずに  
亡くなった先人の  
思いを伝えていく  
大中伸一(74)



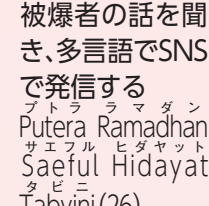
こどもが平和学  
習で分からない  
ことがあれば一  
緒に考える  
佐々木麻衣(36)



聴講者が吸い込  
むように聞いて  
くれる被爆体験  
講話を続けたい  
葉本勝子(85)



祖父から戦時中  
の話を聞き、これ  
から生まれるこ  
どもに伝えたい  
河野凌(25)



被爆者の話を聞  
き、多言語でSNS  
で発信する  
Putera Ramadhan  
Saeful Hidayat  
Tabiyini(26)



記憶し、忘れない  
ように伝えていく  
松島真人(18)



戦争体験を記録  
に残し、身近な人  
に伝える  
図師奈穂美(87)

平和への思いをつなぐ「物言わぬ証人」

クロガネモチ(中区)



爆心地から530m  
離れた白神社前の  
被爆樹木。被爆時  
に焼け残った根元  
から新芽が生え、  
立派に成長した

水道資料館(東区)



被爆当時は牛田水  
源地送水ポンプ室。  
爆風により機能が  
停止したが、その  
後送水を再開し、  
1972年まで水を送  
り続けた

郷土資料館(南区)



被爆当時は宇品陸  
軍糧秣支廠(缶詰  
工場)で、兵士や軍  
馬の食料を確保し  
ていた。被爆後、多  
くの被災者を収容  
した

栄橋(南区)



爆風方向に沿っ  
て架かっていたた  
め、被害が少なく、  
被災者の避難路と  
なった。現存する  
六つの被爆橋梁の  
うちの一つ